

英語を使って楽しもう チャレンジングリッシュ in やつしろ



▲クッキー作りで「one cup, two cups…」と小麦粉を量る

8月21日、麦島公民館でチャレンジングリッシュinやつしろが開催され、市内の小学4～6年生43人が参加しました。これは本市として初めての取り組みで、市立の各学校・園に勤務するALTを講師として招き、ゲームや料理を通して子どもたちが生きた英語に触れることで、英語に対する興味関心をさらに高め、将来を担うグローバル人材の育成につなげていくことを目的としています。

英語で自己紹介を行った後、おやつづくりが行われ、子どもたちはALTの講師からジェスチャーを交えた英語で説明を聞きながら、クッキーを作りました。また、オリジナルのしおり作りやインタビュゲームなどを講師と交わりながら生の英語にチャレンジしていました。

被災地の子どもたちに心の夏休みを 川の安全学習交流会



▲球磨川で川流れを楽しむ子どもたち

8月20日、被災地の子どもたちに心の夏休みを！「川の安全学習交流会」が開催され、御船町立滝尾小学校と本市立太田郷小学校の児童と保護者、住民ボランティアの約300人が参加しました。

これは「次世代のためにがんばろう会」が主催となり、被災地の子どもたちが、交流体験学習会をすることで心のケアを行い、川で遊ぶことで、心のリフレッシュをしてもらうことを目的としています。

川の安全教室講習で川での注意事項の説明を受けた後、活動が始まりました。川の安全教室体験では、川流れやカヌー体験をしました。そのほかにも水生生物観察会・水質検査や竹鉄砲の当て、大道芸などが行われ、終始子どもたちの笑い声が絶えませんでした。

全国大会などの結果を報告 学生相撲で活躍



▲八千把小学校・第四中学校相撲部、本市出身相撲選手と関係者

8月24日、八千把小学校・第四中学校相撲部と現在高校・大学へと進学した本市出身相撲選手らが市役所鏡支所を訪ね、7月下旬から8月までに行われた全国大会などの結果を中村博生市長に報告しました。

中村市長は「それぞれの大会での活躍おめでとう。ぜひ八代から横綱を出したい。これからも頑張ってもらいたい」とあいさつ。

古川晴貴さん（日本大学）は「4月に震災があり、自分に来ることはふるさとの為に相撲で活躍することしかできないと考えた。八代市民に元気を少しでも届けられるように頑張ります」と話しました。

※結果は市ホームページに掲載中。

タグラグビー

JAPAN SPORT NETWORK くまもとプロジェクト in 八代市



▲谷本歩実さんのディフェンスを交わそうとする子どもたち

8月22日、県営八代運動公園で「JAPAN SPORT NETWORK くまもとプロジェクト」が八代市で開催され、市内小学生約70人が参加しました。

これは、熊本地震で被災した子どもたちの運動不足やストレス発散を目的として開催されたもので、日本スポーツ振興センターが企画しました。

タグラグビーは、腰にタグベルトを巻き、その左右に1本ずつタグを着けます。タグは禁止されており、その代わりにタグを奪うルールとなっています。

今回、ゲストとしてラグビー元日本代表の大畑大介さんと柔道元日本代表の谷本歩実さんがイベントに参加。子どもたちとタグを奪い合ったり、ディフェンスをして体を動かしました。

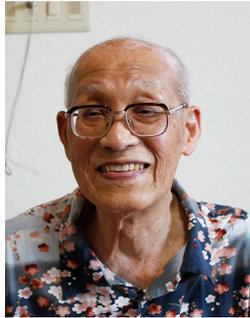
100歳 おめでとうございます



松良 節子さん
(鏡町)

大正5年8月31日生

京都女子大学で保育・幼児教育分野について学んだ節子さん。23歳で結婚。鏡町で託児所を設立し、国の認可を受けて、現在の文政保育園となりました。趣味は海外旅行で、孫を連れて世界各国を巡りました。長寿の秘訣は「自分がしたいことを好きなようにすること」。



東島 正喜さん
(大福寺町)

大正5年8月23日生

高校で教師をしていた正喜さん。得意の尺八は75年間続けており、演奏会にも多く出演し、文化協議会の会長も務めています。1年前からは動物のスケッチを始め、現在5冊目。健康に気がつけ、今までに重い病気にかかったことがないという正喜さんの長寿の秘訣は、「日々勉強し、目標を持って常に前向きでいること」。

本市最高齢107歳 おめでとうございます



高木 ハルさん
(高小原町)

明治42年9月15日生

人吉で8人きょうだいの末っ子として生まれ育ったハルさん。24歳のときに結婚し、夫の転勤とともに八代に移り住みました。現在は、施設で暮らしていますが、昨年までは一人暮らしをしていて、炊事も自分で行っていたそうです。長寿の秘訣は「好き嫌いなく何でも食べること」。

ボランティア塗装



▲手際よく作業を進めた組合員ら

八代塗装・防水組合の組合員13人が8月18日、八竜小学校の遊具や体育施設をボランティア塗装しました。同組合は、地域への奉仕活動として毎年市内の小中学校や幼稚園、保育園の遊具のボランティア塗装をしており、今年で25年目です。組合員は遊具のさびを落とすために、さび止めとペンキを丁寧に塗装。日頃の技術を生かし、作業を手際よく進めると、遊具はみるみるうちに新品と変わらぬ姿を取り戻しました。古島哲也組合長は「きれいになった遊具で子ども遊んでもらえたら嬉しい」と話しました。

専門知識や技能を生かしたボランティア



▲点検後は、きれいに拭き上げ

8月22日、市管工事業協同組合の組合員23人が、麦島幼稚園の水栓やトイレの洗浄弁の点検などを行いました。これは、専門知識や技能を生かし、地域に貢献したいという思いから、同組合が平成17年から行っているボランティア活動の一環で、今回が3回目の活動となります。水栓器具の点検では、吐水パイプと蛇口の接続部分の緩みやさび、ゴムパッキンの劣化具合などを確認。必要に応じて部品を交換し、磨くと新品のようにきれいになりました。今回点検のほかにも幼稚園周辺の道路清掃を行いました。



岩本 オワリさん
(東陽町)

大正5年9月6日生

現在、施設で暮らすオワリさん。坂本町のお茶農家で生まれ育ち、40代で結婚し、子どもをひとり授かりました。結婚後は東陽町に移り住み、米や生姜を栽培し、熱心に農作業に励みました。昔は運動が好きで、ゲートボールを楽しんでいたそうです。オワリさんの長寿の秘訣は「何でも食べること」。



佐藤 春江さん
(錦町)

大正5年9月1日生

韓国の釜山で11人きょうだいの次女として生まれ育った春江さん。19歳のときに両親の仕事の都合で日本へ移り住みました。平成6年に八代へ引っ越ししてからは、園芸を楽しんだり、日奈久温泉に通ったりしていました。和裁や編み物が得意な春江さんの長寿の秘訣は、「小さいことは気にしないこと」。



坂井 レンさん
(本町2丁目)

大正5年8月31日生

5人きょうだいの長女として生まれ育ったレンさん。高校卒業後、代陽幼稚園で働き、28歳の頃に結婚。植柳幼稚園や麦島幼稚園、大田郷幼稚園で園長を務めました。70歳からの趣味は海外旅行。妹や友人とオーストラリアや中国、ハワイなど、さまざまな国々を訪ねました。長寿の秘訣は「色んな事を楽しむこと」。



くもと・みんなの川と海づくりデー



▲河川敷をきれいにしようとごみを集める参加者

8月21日の早朝、市内各企業や団体など37団体、約1000人が、球磨川河川緑地と麦島東公園に集まり、新萩原橋上流や同公園周辺など、5班に別れて美化清掃活動に取り組みました。

これは、県や県下各市町村などが主催で実施しており、ふるさとのきれいな川や海を健全な姿で次世代へ継承していく「くもと・みんなの川と海づくりデー」の一環として、毎年、県下全域の川や海岸などで一斉に行われています。

参加者らは、空き缶やたばこの吸殻など、ごみ袋がいっぱいになるまで懸命に集めていました。

さわやかヤングステージ



▲八代農業高校なぎなた部の演武

8月20日、「第18回さわやかヤングステージ」が、やつしろハーモニーホールで開催されました。このステージは、7・8月の「社会を明るくする運動」の強調期間にあわせて、毎年8月に青少年の「元気・勇気・やる気」を応援することを目的に行われています。今年も市内の高校生や中学生など14組・約180人が合唱や演奏、パフォーマンスを披露しました。

会場内では、出演者の頑張りをビデオやカメラなどで収める姿も見られ、各ステージが終了するたびに大きな拍手が送られていました。

ふるさと祭り植柳盆踊り



▲後ろに反り返る独特の踊り

8月14日、植柳小学校グラウンドで、「第31回ふるさと祭り植柳盆踊り」が開かれました。口説き手と呼ばれる歌い手の声に合いの手を入れながら、同盆踊り保存会のメンバーが扮する黒頭巾に白装束姿の踊り手が、体の前で手を交差させて仰向けに反り返り指先を変化させる独特の振りや地元住民の前で披露しました。

この盆踊りは江戸時代から約400年間続くとされ、楽器を使わず歌に合わせて輪を作って踊り、衣装は若い男女の心中姿とされ「亡者踊り」とも呼ばれています。

防犯活動感謝状伝達式



▲許可の有効期限である10月31日まで活動を実施します

熊本県警察本部長から鏡町防犯パトロール隊へ自主防犯活動に対する感謝状の授与が決定。9月12日、水川警察署で同警察署長から同隊の岡田喜一隊長へ表彰伝達が行われました。

これは、同隊が、自主防犯パトロールの実施地域以外についても、許可を受ければ活動ができるという特例により、5月末から鏡町のみならず、熊本地震の被害が甚大だった熊本市や益城町、嘉島町でも防犯パトロールや声掛けを積極的に継続して行うなど、県民の安全安心感に大きく寄与したことが認められたものです。

水の学校



▲パックテストを使った水質検査体験

9月9日、八竜小学校の5年生を対象に「水の学校」が開催されました。これは、子どもたちが水保全をはじめとする環境問題への関心を高め、環境保全に努めることを目的に、県の担当職員が県内の小学校に出向き、水についての授業を行うものです。

パックテストを使った水質検査体験では、洗剤を混ぜた水や米のとぎ汁など6種類を調べました。川上葉奈さんは「思っていたより汚れていて驚いた。汚い水をそのまま流さないように注意します」と感想を述べました。

クルーズ船顧客をターゲット



▲イルカの写真を撮る参加者

8月26日にクルーズ船顧客向けのモニターツアーが開催され、やつしろ観光ガイドや旅行会社など関係者27人が参加しました。

近年、八代港に大型クルーズ客船の寄港が増加していることを受け、DMOやつしろが主催となつて旅行商品を開発しました。

今回は八代内港から出発し、イルカウォッチングをする6時間のコースを巡り、実際の時間、安全性、トイレの場所などを確認しました。今後、アンケートをもとに改善し、大型クルーズ船入港にあわせて販売する予定です。